

2 学年を終えるにあたって

福商での高校生活も残り 1 年弱となりました。部活動では、多くの部が 5 月の地区大会、6 月の県大会、県総体をひかえています。短い場合はあと 2 か月で引退という部員もいることでしょう。苦しくて何度もやめたいと思いつつも頑張ってきた部活動、コロナで思いっきり練習できなかった部活動であったかもしれません。しかし、過去はもう戻ってきません。残り少ない部活動に集中して取り組みましょう。

さて志望理由書・自己 PR 文の作文テストはできましたか。うまく書けなかった人は準備がまだできていません。「こんなにたくさん書くのは無理」という人は、学力勝負の一般入試にチャレンジしてください。学校推薦選抜や総合型選抜で課される面接・小論文は自分の内面まで問われ、学科試験より厳しいものとも言えます。学科試験がなくても「楽」ではないことがわかったでしょう。

春休みには三者面談を実施（希望者）します。保護者の方と相談しながら最後は自分で自分の人生を決めていきましょう。休み中に自分と向き合うこと、学習やオープンキャンパス参加、資料収集、スクーリングなどに取り組みましょう。そのためには、計画と行動あるのみです。春休みの過ごし方が 4 月からの 3 年生に生きてきます。余裕、自信をもって 3 年生をスタートするのか、どうしようと迷ったまま不安の中でスタートするのか、決めるのは自分です。先生や保護者の方が決めてくれません。どうしようと迷っている余裕はありません。苦しくてもやるしかありません。

「決められない、わからない」のは自分と向き合うことが十分ではないからです。自分自身と向き合うことを避けていたら先には進めません。授業のない休み中だからこそ、自分はどのような人間なのか、自分の強みは何か、自分は将来何をして生きていきたいのか、自分としっかり向き合ひましょう。3 年生になり 18 歳を迎えたときに皆さんは成年となります。自分が自分自身のことをよく知ることで自分の中に基準となる「軸（これだけは譲れないこと、大事にしたいこと、何かを決める時の基準）」決めることでやりたいことが生まれ、選べるようになります。

進路活動は、ただ次に行くところを決めるだけではありません。高校卒業後の社会は残酷な社会です。その中でたくましく生きていくためにも、今、大いに苦しみ、失敗し、失敗から立ち直る力や方法を身につけることが大切です。「失敗のない人生が最大の失敗」なのです。「とりあえずは入れるところでいいや」と安易に決めることはそれなりの人生にしかならないでしょう。苦しんだ分喜びは大きくなり成長も大きくなります。「迷ったら困難な方を選ぶ」ことで卒業式に何倍も成長したみなさんの姿が見られることを期待します。



他人と比べて才能があるかないかを考えるなんて、自分自身にとって時間の無駄である。そんなことを考えてなんの意味があるのか。それより自分でコントロールできる部分に力を注ぎたい。

自分でコントロールできること

- ① 己の特徴の理解
- ② ①を磨く努力
- ③ 自分が勝てる環境の選択

森岡 毅（マーケター）

4 月の予定

8 日（金）始業式 頭髪服装指導

12 日（火）対面式、部紹介

13 日（水）実力診断テスト

14 日（木）専門委員会編成

15 日（金）身体測定 部活動編成

18 日（月）～27 日（水）面接週間

24 日（日）PTA 総会 25 日（月）代休